JAC北九だより

Ｎｏ．82（平成29年　第4号）

公益社団法人　日本山岳会 北九州支部

kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発 行:公益社団法人 日本山岳会北九州支部
支部長　関口 興洋
事務局: 行橋市東泉3-18-10
竹本 正幸方
TEL-FAX 自宅　0930-28-9611
携帯　090-6739-9251
編集人:　事務局(森 義雄)
印 刷 : 山口県山口市水の上町2-25
内 藤 製 本 所

10月22日(日)第1回槇有恒碑前祭の開催

支部長　関口　興洋

◆◆　槇有恒碑前祭　◆◆

主催：公益社団法人日本山岳会北九州支部

1．日時：平成29年10月22日(日)
2．場所：門司区・風師山(風頭)
　　「槇有恒」記念碑前
3．集合：9合目駐車場　午前9時30分
　駐車場から徒歩で風頭へ(約15分)
4、スケジュール
　(1)記念式典　午前10時から11時まで
　　式次第：支部長挨拶、来賓挨拶
　　献花・献歌・記念撮影
　(2)記念レセプション
　　会場：門司区門司倶楽部
　　TEL:093-331-2331
　　時間：正午から午後2時
　　会費：５０００円
5．その他
　雨天の場合は登山を中止し、記念式典と記念レセプションを門司倶楽部で行う。
　　集合時刻：午前11時30分
　　集合場所：門司倶楽部２Ｆロビー
　　雨天中止の場合は、前日夕刻のＮＨＫの天気予報にもとづき決定し参加者に電話・メールなどで連絡する。
6．参加申し込み先
　北九州支部事務局（竹本正幸）
　電話・ＦＡＸ：0930-28-9611
　携帯　：090-6739-9251
7．期限
　平成29年10月15日（日）

以上

風師山(風頭)にある記念碑と略歴碑

槇有恒碑前祭の開催について

「顕彰碑にみる人物登山史」(2011年10月28日発行、発行元　日本山岳文化学会)を紐解くと、日本山岳会の歴代会長で顕彰碑が建立されているのは、初代小島久太(烏水)、２代高頭仁兵衛、３代木暮理太郎、12代今西錦司、13代西堀榮三郎の5人である。

槇有恒は、スイスアルプスのアイガー東山稜の初登攀(1921)、カナダのアルバーター初登頂(1925)、1956年５月日本山岳会の悲願であったマナスルの第三次登山隊長として初登頂に成功するなど、戦前・戦後を通じて日本の登山界をリードし、日本山岳会の会長も２度歴任し(４代：1944～1946、7代：1951～1955) 日本山岳会中興の祖と崇められる著名な人物であるが、顕彰碑は建立されていない。

前述の人物登山史で山森欣一氏が槇さんの功績を披露されているが、関門海峡の絶景を眺望する風師山の碑は「槇が地元登山家の努力を称えたものであるので、顕彰碑ではなく記念碑である。収録するなら番外とすべきと考える」との見解を述べられている。

碑文

「この頂に立つ
幸福の輝きは
これをとらふる
術を知りし
山人たちの
力によるものなり
昭和三十二年十月
槇　有恒

この記念碑が設置された経緯は、1956年(昭和31年)にマナスルの初登頂に成功した槇有恒が登山報告に門司市(当時、毎日新聞西部本社が存在した現在の北九州市門司区)に来訪された際、風師山早朝登山会の堤甚五郎(元ＪＡＣ会員)が槇有恒を風師山に案内した。槇が帰京した後、堤甚五郎の要請に応じ、その時の感慨を述べた一文を草した。それを基に記念碑が設置された。

昨年、マナスル登頂60周年の記念行事を碑前で行いましたが、今後とも槇有恒の偉大な業績を後世に伝える方法として、風師山に建つ記念碑の前で細やかではありますが、第１回目の碑前祭を10月22日(日)に開催いたしたく各位のご支援ご協力をお願い申し上げます。

（後日談）2013年、森武昭前会長が現地を訪問されたとき、「今の若い人は槇有恒といっても知らない人が多くなってきたので、槇さんの略歴碑があればいいな」と漏らされたことが発端となり、早速、地元関係者の協力を得てステンレス鋼板の立派な略歴碑が翌年３月完成し森会長のご出席の下で除幕式が行われた。

8月11日
「山の日家族登山」の反省点

14264　丹下　治

行程としては昨年と同様なので、来年度以降担当される方々の参考になればと反省点を中心に報告いたします。

前年と同様に当日、事前申し込みのない方々が17人。これが受付混雑の原因となりました。これは、「山の日登山の宝満山、英彦山、風師山の紹介パンフレット」に当支部の開催案内の参加資格：小学生以上、中学生以下は保護者同伴、〆切日：8月4日、申込先のＴＥＬ，ＦＡＸ等の記載がなく「どなたでも参加できます」とのパンフレットが作成されていた為と思われます。来年以降はこの点を確実に申し入れて頂きたい。

次に隊列の班編成ですが、可能であれば行いたいのですが、直前まで支部会員も含め参加人員が確定出来ませんでした。一般参加者は増加するのに、支部関係者の参加は減っています。締切日を過ぎての連絡、支部報の案内を良く読んでいない。

8月2日の最終打ち合わせの出席が少なく、欠席者からの問い合わせもない等々で班編成は断念しました。当行事は支部にとって最大の公益事業です。1人でも多くの参加支援が以後の活動に資するものと思います。

隊列が伸び切った事ですが、前年度同様、要所で水分補給を兼ね史跡や文学碑等の説明の為、パーティの中央に下がった為、関心のない子供等が勝手に先行しそれにつられて健脚者がついて行き統制が困難となりました。次にＣＬ、ＳＬ予定者はもとより他の役務、班長予定者は現地予定コースを事前踏査の必要があります。7月に企救自然歩道の改訂版編集の為、区役所の方々と本コースを歩いた時にはスズメバチの気配はなかったのですが、山口のテレビクルーが矢筈山近くでスズメバチに襲われたというアクシデントがありました。温暖化の影響で各地で蜂等による虫害や熱中症の被害が増えており、これらの対策が更に必要となるでしょう。

風頭でのアイスの配布は今年も好評で事前の準備、当日の荷上げ、ご苦労様でした。子供達の笑顔がなによりです。大騒ぎにとりまぎれ記念集合写真を失念！！

蜂対策の為に、コース整備の草刈りを行って下さった門司区役所に感謝申し上げます。

蜂を避け縦走路の最低鞍部より迂回路の車道を歩き矢筈山へ。途中、体調不良の参加者に気付く、20㎏の装備を担いできたとか。一寸理解不能。矢筈山で応急手当をする。矢筈山は上水道と角氷が用意してあり急ぎクールダウン！！薬剤師の指示で応急手当。

丁度訓練中の消防署員が居合わせる。適切な処置との評価で無事回復。ホットして昼食。

子供達のお待ちかねのスイカ割り。

矢筈山キャンプ場でのスイカ割り

この様子は翌日の毎日新聞の記事に載っていた。

下山を前に記念品のプレゼント、今年は特に毎日新聞社提供のＴシャツもあります。松田支部友のご尽力です。事前にサイズを確認していたのですが、大混乱。出発時に、氏名、サイズを書いた整理券を配布しておくべきでした。来年はこれらの反省をもとに更に楽しく充実した「山の日家族登山」になる事を願っています。スズメバチ対策に尽力下さった門司区役所、Ｔシャツ提供等御後援を頂いた毎日新聞社、アイスの調達、救急車両としてマイカーを提供頂いた関口支部長、キャンプ場の準備に協力して頂いた池田会員及びスタッフ、体調不良者の手当に努めて頂いた町元会員、竹本事務局長御夫妻等、体調不良者に最後まで付き添って下さった切間支部友、この山行に係わって下さった皆様に心よりの感謝を申し上げます。次回はもっと実りの多い山行になります様に心より願っています。

＜家族登山の概要＞

日時：平成29年８月11日（金・山の日）
集合：ＪＲ門司港駅前8：45
行程：門司港駅発9：00
　風頭岩峰着11：00（アイス提供）
　風頭岩峰発11：30
　（スズメ蜂対策のため一部迂回路を歩く）
　矢筈山頂上着12：30（昼食、スイカ割り）
　矢筈山頂上発14：15
　小森江バス停着15：15（解散）
参加人員：一般参加者75人（内　中学生以下22人）
　北九州支部関係者28人　合計　103人
　（事前申し込みのない方　17人）

平成29年度自然保護全国集会の報告

支部長　関口興洋（13643）

日　程：平成29年7月9日(日)～10日(月)
会　場：岐阜市長良川河畔「十八楼」
参加者：本部役員(谷内常務理事、近藤理事、山田実行委員長)
　自然保護委員会（川口委員長以下9人）
　支部（北海道、宮城、群馬、埼玉、千葉、東京・多摩、首都圏、越後、富山、石川、信濃、岐阜、東海、京都・滋賀、関西、四国、北九州）
　地元の関係者を含めると100人以上

テーマ：「外来種に怯える山の植物たち」

7月9日(日)
支部報告、基調講演、分科会、懇親会

（1）基調講演「伊吹山の外来植物」を財団法人自然学総合研究所の清水政美主任研究員が行ったが、興味のある内容であった。伊吹山の外来植物は1568年、織田信長がポルトガルの宣教師に、伊吹山で薬草を栽培することを許可し、約3000種の薬草外来種が栽培されたとのこと。

　江戸時代には伊吹山で採取された薬草が幕府への献上品となっていた。ポルトガルの宣教師が持ち込んだ薬草で現在も伊吹山で見られる品種は、キバナノレンリソウ、イブキノエンドウ、イブキカモジグサの三種とのこと。

（2）分科会の内容
①「高山帯での課題」西條好廸岐阜支部自然保護委員が担当
②「亜高山帯」下野綾子東邦大学理学部生物学科講師が担当
③「山地帯での課題」清水政美講師が担当
　関口は③の分科会に出席

（3）支部報告
　北九州支部からは当支部が主管者として推進している英彦山の清掃登山と英彦山のバイオトイレの設置と管理・運営の状況について報告。

7月10日(月)
フーイルド　・スタデイ

　日本百名山、花の百名山として有名な伊吹山での観察会に参加。（52人）

　岐阜支部自然保護委員会の藤田委員長の案内で伊吹山へ向かう途中、マスコミの話題となった「子鹿を襲うイヌワシ」の撮影ポイント8合目を通過。車内で新聞報道された写真を回覧してもらう。

　清水講師の説明を聞きながら山頂へ向かう。天気が雨模様で期待していた琵琶湖の景観と比良山系の眺望が得られずガッカリ。伊吹山もシカの食害が広がりシカ柵が設置されていた。「イブキジャコウソウ」の観察が山頂ででき、香りをかぐことができ、また、1等三角点の設置場所も確認できたのが収穫であった。

以上

平成29年度「忘年の集い」のご案内

今年の山の思い出や来年の計画等
楽しく語り合い、情報交換をしましょう

と　き：12月16日（土）午後5時～7時
場　所：博多サンヒルズホテル
（ＪＲ吉塚駅下車徒歩3分）
TEL 092-631-3331
会　費：6,000円
集合場所＆時刻
Ａコース：宝満山(829㍍)登山
集合場所：ＪＲ二日市駅前 8時30分
Ｂコース：忘年の集いのみ 16：30迄に会場へ
または、博多及び天神地区自由散策後16:30
までに会場へ
参加申込み：11月30日まで
受付窓口(Ａ・Ｂｺｰｽ共)
榊俊一(TEL：092-947-3208、携帯090-8416-4194)
Eﾒｰﾙ oskfssakaki@cameo.plala.or.jp
または,幹事 三浦利夫(携帯090-2850-6020)
三宅明子(携帯090-1510-1311)

＜ＪＲ線　(土曜日)時刻参考＞
①下関06:16→門司乗換6:23 6:25→小倉06:30→
博多乗換7:43 8:00→二日市8:24
②下関14:53→小倉15:08乗換小倉15:11→
吉塚着16:19

平成29年度日本山岳会
年次晩餐会のご案内

通常会員と準会員が対象です
1．と　き：平成29年12月2日(土)～3日(日)
2．場　所：東京都新宿：新宿京王プラザホテル
3．日　程
12月2日　晩餐会(ホテルにて)
12月3日：記念山行(4時間程度)
河口湖足和田山・紅葉（日帰り）
4．案内状が10月の会報「山」に同封されます。
参加希望者のみ振込用紙で会費を振り込む
ことになります。
5. 参加希望者は事務局にもご連絡ください。

H26.12月晩餐会の記念山行
明神山頂からの富士山

通常の式典、懇親会、記念登山は実施されません

◎福岡支部設立60周年記念事業

1　「岩崎元郎さんの健康登山講座」
日時　10月13日(金)
午後6時30分～午後8時30分
場所　太宰府館まほろばホール
入場料　無料　予約制250人

2　観察会など
日時　12月9日(土)

第1部　午後1時30分～午後3時
「山の天気入門机上講座」猪熊隆之気象予報士
場所　プラム・カルコア太宰府(太宰府中央公民館)多目的ホール
西鉄太宰府線「五条」駅下車徒歩7分
入場料　1,000円
定員　100人

第2部　午後3時30分～午後5時
「実践フィールド観察会」
会場　プラム・カルコア～観世音寺～
太宰府政庁跡～国分寺跡など
入場料　1,000円　定員50人

申込み：TEL092-715-1557
アルパインツアーサービス㈱
アドレス：fukuoka@alpine-tour.com

5月20日(土)　九州5支部懇談会
記念講演「安全登山のために」
(概要抜粋)

講演：鹿屋体育大学　山本正嘉教授

1　登山はなぜ健康にいいのか？

○ウォーキングに比べ心拍数の上昇多く、時間が長い。

○最近の事故の傾向→ベテラン(特に10年以上)の事故率が高い　※ここを考えていこう！
60歳を過ぎると、筋肉の繊維が減っていく。
また脂肪がついてくるので、努力が必要。

○登山はハードなスポーツ
ハイキング6メッツ、夏山7メッツ、雪山8メッツ(7メッツはジョギングに相当）。
6メッツは安全圏内、7メッツからは安全圏外。

2　トレーニング方法を見直す

○トレーニングはしているが、登山に役立っていないケースが多い。
例1　ウォーキング　時間は長いが、負荷が低い(4～5メッツ)。
例2　階段昇降　　負荷は高い(8メッツ)だが、時間が短すぎる。
両方共、健康には良いが、登山には不十分。

○トレーニングの見直し
その1　目指す山で要求される体力のカルテを作る。
山と渓谷のガイドブック等を見て考える
その2　目標とする山と現状のトレーニングとのギャップを知る。
その3　トレーニングの改善
心拍数を上げるために低山を速く歩く、本番を意識して荷物を考える。
月間登下降距離を考える（上りと下りでそれぞれ2000メートルを目標に）

※体力維持のための登山の最低間隔

年　齢	登山回数	年　計
40歳以下	3ヶ月に1回	4回
41歳～44歳	2ヶ月に1回	6回
45歳～49歳	1ヶ月に1回	12回
50歳～59歳	2週間に1回	24回
60歳～64歳	10日に1回	36回
65歳～69歳	7日に1回	51回
70歳以上	5日に1回	年齢と同回数

その4　低山で自分の体力チェック
「行きたい山」と「行ける山」が一致しているか。
マイペース登高能力テストや山のグレーディング表の活用。
マイペース登高能力テストでは、1時間当たりの登高距離が、
300メートルの場合6メッツ
400メートルの場合7メッツ
500メートルの場合8メッツとなる。

その5　筋力トレーニングをする。
脚筋力と腹筋の強化
自加重負荷のトレーニングとして、①スクワット、②上体起こし、③足上げ
まずは10回×3セットを週に3回
楽にできるようになったら15回×3セットを週に3回行うようにする。
これが、膝や腰の痛みの予防になる。

その6　山に行ってからの疲労対策
疲労は1種類ではない。
①登りで起きる疲労　（オーバーペース）
②下りで起きる疲労　（筋肉疲労）
③エネルギー欠乏による疲労
④水分欠乏による疲労
エネルギーと水分補給の指針
A　エネルギー消費量＝体重×時間×5
B　脱水量＝体重×時間×5
AとBは同じ。この7～8割を補給することが望ましい。

3　最近の動向
(1)ガイドブックにコース定数が記載されている
コース定数×（体重＋荷物）＝消費カロリー
(2) 山のグレーディング表
A、Bは7メッツ、C、Dは8メッツに相当する

まとめ
自分の力に合った山を選ぶために、目標となる登山の予行練習を何度も行い山に行ってほしい

講演記録者　16186　三宅　明子

月例山行　6月10日(土)
合頭山(1390㍍)～猟師山(1423㍍)
森の貴婦人オオヤマレンゲに癒されて
15505　今田　智絵

笑顔で登った猟師山山頂

2～3日前の天気予報では雨でしたが、この日はなんとか晴れ、暑くもなく歩きやすい天候に恵まれました。午前10時九重森林公園スキー場の駐車場に集合。準備体操の後、午前10時15分出発。スキー場を登り途中から林道へ。林道を15分ほど歩き分岐に到着。ここには花の中心が白で、まわりがピンクのミヤマキリシマ。ここから右の山道へ進み10分、左へ行くと合頭山、右へ行くと猟師山の標識。(10:40)左へ進んで合頭山へ。地籍点があり少し広い広場で休憩。まわりを見ると久住の山々が見え雄大な景色を堪能。足元を見るとやまなみハイウェーに車がたくさん見え、まるでミニカーの駐車場のよう。

ここで清家幸三リーダーが合頭山の由来を紹介。合頭山、その名の通り頭(ピーク)が連なる山容で3つのピークからなる山。ネットで、もうちょっと調べて地図を見たら3つのピークがラクダのコブのように見える。(地図を見ながらなるほど！！)

そして、10分ほどで合頭山山頂到着！！何もない・・・しかし360°久住の山々が見えこれまた雄大な眺め。ここで昼食。午前11時45分合頭山山頂出発。また、もとの分岐にもどり猟師山へ。少しのアップダウンがあり午後0時20分猟師山山頂到着。さあ、ここからが今日のメインであるオオヤマレンゲ。猟師山山頂をあとにし、25分林道へ。うさぎコース手前にオオヤマレンゲが１つ。少し林道を下ると、3～4つ咲いていました。　蕾もたくさん。森の貴婦人と言われるオオヤマレンゲ、優しい香りにいやされ疲れもどこかえ。オオヤマレンゲを堪能し、その後うさぎコースへ。うさぎコースを20分下り、スキー場のゲレンデに到着。午後１時15分スキー場駐車場に到着し解散。とても気持ちの良い山行でした。皆さん、お疲れ様でした。有難うございました。（おまけにすぐそばの一目山に登りました！！）

参加者：11人
会員：井上禮子、竹本正幸、竹本加代子、赤瀬榮吉、縄手修、今田智絵、大谷恵美子、奥田スマ子、清家幸三、小林英世、中畑智子、

月例山行　7月1日～2日
真夏の九重はナイト登山が快適
14079　内藤　正美

1日(土)午後5時に牧ノ戸峠集合予定でたっぷり時間があるので、8人が正午からはげの湯から涌蓋山に登る。陽ざしが強く木陰が切れるところで私だけ待機する。下山時間が遅くなり入浴はあきらめ集合場所に急ぐ。全員集合を確認し希望者のみ筋湯で入浴する。夕食ごろから次第にガスがかかり始め星空は期待できなくなった。

明日朝が早いので早々に就寝するが深夜12時ごろ突然下から突き上げるゆれを感じる。同時に横揺れも感じたので震源は近い。ネットで確認すると産山村が震源で震度4とのこと。揺れの時間は短かったので登山道には影響はないと思うが、熊本の方はしょっちゅうこんな地震があれば怖くてたまらないと思う。

起床時間には間があったが、目が覚めてしまった。午前2時から食事をとり、午前3時牧ノ戸峠から登山開始。慣れた道でもヘッドランプで照らされると新鮮だ。ガスの中ではあるが足元を確認しながら登る。久住分れまで来ると明るくなるが、朝日は見えない。

予定の久住山、稲星山の後、白口岳をオオヤマレンゲが鑑賞できる鳴子山に変更する。数は少ないものの気品ある山の貴婦人にご対面し池の小屋まで引き返してコーヒータイム。元気な皆さんは中岳、天狗ヶ城を目指す。星生山に登ると正午を過ぎてしまいそうなのでそのまま午前11時全員無事下山。天候がすぐれないからか、日曜日にしては駐車場に空きスペースがあった。牧ノ戸温泉で入浴後9月の山行を話し合い、解散する。お疲れ様でした！！

真夏の九重はナイト登山が快適です。

参加者：21人
会員：ＣＬ内藤正美、ＳＬ塚本久嘉、榊俊一、大内喜代子、吉田克己、縄手修、縄田正芳、大谷恵美子、三浦利夫、町元里香、清家幸三、小林英世、伊藤友紀
準会員：稲田久志、藤原玲子、
支部友：網塚陽子、原容子、和田敦子、藤井恒介、藤本和代、太郎良嘉親

月例山行　8月17日～8月22日

思い出の表銀座縦走と焼岳登山
ひとこと　　ふたこと

行程

8/18(金)　安曇野8:00/8:20→中房温泉9:05/9:15→合戦小屋12:15/12:50→燕山荘14:00（小休止）→燕岳14:50/15:35→燕山荘16：00

8/19(土)　燕山荘5:05→大天井分岐7:47→大天井ヒュッテ8:35/8:50→西岳ヒュッテ11:17/11:50(昼食)→水俣乗越13:01→ヒュッテ大槍15:07

8/20(日)　ヒュッテ大槍6:00→槍ヶ岳山荘7:00→槍ヶ岳山頂7:30(休息)→槍ヶ岳山荘8:07/8:45→水俣乗越分岐11:07→槍沢ロッジ12:05/12:25(昼食)→横尾13:40→徳沢14:35/14:50→明神15:30/15:40→河童橋16:15→山研16:25

8/21(月)　山研7:00→焼岳登山口7:40→焼岳小屋9:45→焼岳山頂11:05(昼食)→焼岳登山口14:20→山研15:15

憧れの表銀座「ますます山が、好きになりました」
A0078　　藤原　玲子

燕岳から大天井、西岳を経て、日本のマッターホルンと呼ばれる槍ヶ岳へと続く表銀座の縦走は私の憧れでした。

４日間は、天気に恵まれ、可愛い花や、雄大な山々を見ながらの縦走は素晴らしかった。コマクサの群生とイルカ岩、ライチョウにも会えて嬉しかった燕岳。三点確保と、ほぼ垂直なハシゴを両手でしっかり握り、緊張して登った槍ヶ岳。火山岩がゴロゴロしていて、下山者から10分前にクマ出没！！と聞きドキッとした焼岳。合戦小屋のスイカ、御来光等、沢山の思い出ができました。

そして、山が、ますます好きになりました。参加するまでは、登れるか心配で緊張しましたが皆さんのご指導のおかげで縦走が達成出来ました。本当に、色々とお世話になりありがとうございました。

「休憩は短く、水分補給はまめに、ゆっくり歩くこと」モットーに
14689　大内　喜代子

初日の8月18日中房温泉登山口(9：10)～燕山荘(14：10)はCLから先頭の指示をうけ、一瞬迷いました先頭に。３年前自分の計画で友人と二人で歩いたコースを想い出し、休憩は長くとらず水分補給はまめに、そしてゆっくり歩くことをモットーに。

憧れの槍ヶ岳を目指す、東鎌尾根の縦走

五合目の合戦小屋での行動食、休憩は20分、その間においしいスイカをほおばる。元気がでたと思い登り始めるも、そこからがやたらきつい。足がつりそうな気もした。７合目頃からお花畑が続くも、先頭を任された立場上カメラチャンスを逃す。お花にはいつも癒される。

皆、疲れを忘れて笑顔に。私の想定通り丁度5時間で小屋に着く。前夜からレンタカーの運転に頑張って下さった方々有難う。楽しい山旅でした。

早朝より素晴らしい天気の槍ヶ岳
16163　　中畑　智子

小倉駅より安曇野まで男性４人に運転して頂いて移動し、すぐに中房温泉登山口より燕岳へ。

何度か北アルプスへ行きましたが、今回のように登山口まで車で行ったのは初めてでした。運転有難うございます。お疲れ様でした。雨にも会わず登ることができ、花も夏秋の花が沢山さいておりとても綺麗でした。槍ケ岳に登る日は早朝より素晴らしい天気で感動でした。以前から登りたいと思っていた焼岳にも登れて嬉しかったです。本当に皆さん有難うございました。お世話になりました。

「荷物は1㌘でも軽く」と何回も聞いてはいたが。
北九463　　加藤　信子

「荷物は１㌘でも軽く」と何回も聞いてはいたが、今回１㌘の重みを身にしみて体感した。登りの一歩一歩にズシリとのしかかり反省しきり。Ｎさんの荷物は私よりも３㌔も軽かったのに、いざ必要な時に必要なものがでてきて色々と助けられた。これからの荷造りは変わります。変わるはずです。何年たっ

ても教わることばかり・・・・。一生勉強なんて言うから、まーいいか。

ご一緒くださった9人健脚のみなさん、縦走の醍醐味を味わい楽しい時をありがとうございました。

充実満たん！

仲間のリードで歩き通せた表銀座縦走と焼岳登山

北九445　井上　薫

今回の山行は初コース・初登山であり楽しみにしていたと同時に北アルプスは2年ぶりだ。

年を重ね体力的に大丈夫かなとの不安もありの山だった。

１日目は寝不足と高度順応不足で体が重苦しかったが、合戦小屋でのスイカは少し元気になる。そして槍ヶ岳山頂の展望は快晴できれいに見渡せ遠くには富士山。ここまで来れたのは山仲間に感謝です。焼岳は現役の活火山で、旧火口に溜まったエメラルドグリーンの水は印象的。全般を通し比較的天気と仲間のリードで最後まで歩き通せ、終始最後尾より助言を頂き無事終えて感動しております。又の機会もよろしくお願い致します。お疲れ様でした。

憧れの北鎌尾根にくぎづけ

14853　竹本　加代子

皆の視線が一点に集まる。槍の穂先のガスが切れた。槍の穂先へと続く北鎌尾根の全貌が目の前にドカ～ンと立ちはだかる。ゴジラの背のような尾根を何度もたどり何度も頂上に立つ。

一枚の写真にはおさめきれず何度もシャッターを押す。憧れは憧れのままで、ただただ見つめるだけの北鎌尾根でした。

槍ヶ岳山荘前での槍ヶ岳山頂

大きな溶岩ドームの山頂　焼岳

15138　縄田　正芳

穂高、槍への往く帰りに大正池そして河童橋より何度も見上げ、眺めるだけで通過していましたが、いつかはぜひ登ってみたいと思っていた山でした。

今回表銀座コースの最終日(8月21日)に初めて登る機会に恵まれました。北アルプス「御嶽山と並ぶ」活火山であり、今なお活発に活動を繰り返しており、その様子が間近に見られるというので興味津々、期待を胸に山研を出発しました。静かな木々に囲まれた車道や遊歩道を登山口まで進みます。途中にあるウェストン碑を見学。さすがに上高地の観光客の散策もこのあたりまでで、これより先は登山者専用の道のようで観光客は見かけませんでした。

焼岳登山口からはしばらくなだらかな深い樹林帯の道をたどります。大きなシラビソ、モミ、ダケカンバなどの木々の間を縫うように歩きました。森林浴をしているようなすがすがしい気分でした。とても噴煙を上げ活動している山に向かっているとは思えないほどでした。樹林帯を過ぎて長いハシゴ段を登ると風景はいっぺん、一面の熊笹の斜面が現れます。強い日差しを受け喘ぎながら登るとようやく焼岳小屋です。

青い屋根のこじんまりしたこれぞ山小屋といった建物です。一度は泊まりたい雰囲気でした。ここを過ぎればもう森林限界です。中尾峠からは大きな岩の塊の山頂を見上げながらのゴツゴツした岩の厳しい登り道です。ところどころの岩の隙間から噴煙が吹きだし、硫黄で岩を黄色く染めています。その傍を、息を殺し急ぎ通過します。山の息遣いが感じられました。山頂は今にも崩れ落ちそうな大きな溶岩ドームです。登り口の岩場からは盛んに噴煙が噴出しており、すぐそばを少し緊張しながら岩に手をかけ登りました。つかんだ岩が熱く感じられる気がしました。山頂からは360度の大パノラマです。

穂高の峰々は雲に隠れあまり見えませんでしたが、眼下には今歩いてきた道、上高地、梓川、大正池がくっきりと見えます。また目の前には深い緑に覆われた霞沢岳、六百山、南には乗鞍岳が近くに見えました。しばし大展望を堪能することができました。しかし足元では今なお盛んに火山活動が繰り返されており、今その岩の上に立っているとは不思議な気分でした。

ここまで約4時間余り。麓からは近くに見えたのに意外と時間がかかりました。さすがに北アルプスの山はひとつひとつの大きさを感じました。山研へは往復8時間余りでしたが、8人の仲間と初めての焼岳、存分に楽しむことができました。

３回目の「槍の綺麗な朝焼けと山頂からの大展望」

15646　塚本　久嘉

表銀座を歩くのは今回で3回目、過去2回は悪天候の山行でした。

今回も天気が心配でしたが雨も大降りすることもなく、ヒュッテ西岳を過ぎるあたりから晴れ間が広がり展望を楽しめました。槍の綺麗な朝焼けと山頂からの大展望を楽しめました。

今回は花も多かった、今年は花の開花が遅かったので夏花も秋花も鑑賞出来ました。

焼岳も直前の噴火で中止も考えましたが、気象庁の情報では噴火の兆しはないと言うことで決行しました。参加のみなさんも健脚で、連日8時間以上の山行でしたが、脱落者が出ずに無事下山することが出来大満足の山行でした。次回は裏銀座方面へ続きを歩きたいですね。

参加者：10人
会員：ＣＬ塚本久嘉、大内喜代子、竹本加代子、縄田正芳、縄手修、中畑智子、準会員：藤原玲子、支部友：井上薫、加藤信子　ビジター：森雅恵

故障者も出ず10人と歩いた楽しい山旅

15174　　縄手　修

19日燕山荘～ヒュッテ大槍、20日ヒュッテ大槍～上高地、21日上高地～焼岳～上高地迄の3日間先頭を歩きました。10人と多人数に関わらず故障者もでず、楽しい山歩きでした。

最終日元気よく登ったの焼岳山頂

月例山行　8月26日～27日
尾鈴山系・甘茶沢登りと人の出会いについて

5306　園川　陽造

写真は甘茶沢渓谷

甘茶沢のグレードは各所に10㍍前後の滝は続くが、透明度の高い沢水と開かれた沢は明るく、おしなべて中級クラスです。

沢を楽しむには全沢を遡らなくても、必要な範囲を散策して楽しむには十分な環境を備えていると言えます。次回は多くの参加を期待して、一部環境調査も含めた行動をして来たので、個々それなりの思いが残ったものと思います。

この計画は個人的に宮崎の岳友と楽しんでいたものを、今回クラブの計画に取入れ実施したものです。この旅に地元宮崎市から三原丈直氏・熊本市から高田美香さんの異色の参加があったことを付け加えます。

合宿したことで沢登りそのものより、人とひとの関わりが“同じ釜の飯”を食べると言うことで実現したことは評価すべきだと思います。

このことは最近の山行で薄れ行く傾向にある、現実を考えると賞賛に値するものと思われます。

初対面の者がそれなりに協力しあって、豊かな人間関係を構築する事は素晴らしいの一語に尽きるものです。次回の計画では1泊２日を2泊3日に広げ、参加者の自由な日程調整で参加して貰えれば、有意義な沢登りが実現するのではないかと思います。特にキャンプ地周辺は何もせず時間を過ごしても、それなりに楽しめ、癒しの環境だと言えます。支部員外の参加者から沢登りを一緒でき、さらに楽しめたことに感謝する旨のメールを貰ったことを紹介しておきます。

＜会員外参加者の紹介＞

＊三原丈直氏は福岡から帰郷し医師として活動され、昨年“国際山岳医”のライセンスを取得されました。

＊高田美香さんは熊本市の企業に在籍し、福岡市でスポーツクライミングの研修を経て、10ａレベル期待の若きクライマーです。

参加者：8人　園川陽造講師、三原丈直講師
会員：竹本正幸、竹本加代子、縄手修、森義雄、中畑智子
ビジター：高田美香

講師と医師を迎えての尾鈴山甘茶沢遡行

15387　森　義雄

山小屋で鍋を囲んで酒を酌み交わす

今年の沢登りは、園川講師の紹介により尾鈴山甘茶谷で行うことになりました。

この2年沢登りは雨による増水で中止となり、3年前に購入した沢登り用のセットが家で泣いています。前回から3年ぶりで、特に景観が良い尾鈴山の谷とのことで参加しました。

今年こそはと準備万端で当日を迎えました。

8/26（土）雨・曇り

朝から雨、あーやはり・・・。縄手さんと集合場所の竹本家に向かいます。縄手さんの車に竹本加代子さんが宿泊用の食材と器具を用意し積み込み、運転の縄手さん、竹本夫妻、中畑さん、森の5人で出発。車中では、雨が降り増水すると中止かなと暗い話しになります。

しかし、大分市過ぎて佐伯あたりから、天気は回復曇り空。現地は夜が雨の予報もあり、心配ですがどうにか持ってほしいと祈るばかり。

午後3時過ぎ尾鈴キャンプ場に到着。

尾鈴山は、4年前山岳会に入り初めての宿泊山行に参加し、雨のため登れなかった山です。

尾鈴キャンプ場の入り口に近い山小屋に入り、荷物を置いて、夕食用の食事の準備に入ります。

園川講師と高田さんは、九州道経由で午後4時半過ぎに到着。

午後6時前から、夕食をとります。お酒を酌み交わしながら皆さん自己紹介で山談義。少し遅れて、三原丈直先生が到着。

園川講師が三原先生を紹介します。三原先生は、宮崎市内の病院医師で登山のキャリアも豊富であり、平成28年には日本登山医学会認定山岳医(国際山岳医)の認定を受け、現在活躍されています。園川講師とは師弟関係であり良き山仲間と紹介されました。

夕食会を終え、三原先生から「野外活動（アウトドア）での熱中症対策」についての講義をしていただきました。熱中症の診断分類では、一般的な分類と野外(山岳地域)での分類が違い、対応もかわるとのご指摘がありました。

予防対策として、身体の要因・環境要因・活動要因の対応、行動中の脱水(ｍｌ)を知る、山岳地域での熱中症の重要度と応急処置の説明、特に山岳地域では地上での応急処置と違い、環境や時間制限があることから早期判断や移動を速やかに行うこと等対応が重要との説明でした。最後に水分補給のためには塩分と糖分の関係があり、適正なスポーツドリンクはどれか？等わかりやく説明をいただきました。

講義後、質問に対しては普段は科学的な医学的な説明を聞くことがないため、われわれに具体的に医師としての立場での説明回答をいただきました。夜は、涼しい部屋の中でゆっくり眠ることができた。

8/27（日）曇り・晴れ

午前5時起床、朝食をとり、沢登りの準備をして、6時半過ぎに出発、一旦車道を15分ほど歩き、車道から沢に入ります。水の流れは穏やかで、無理がなく、尾鈴山瀑布群といわれる沢を歩き始めます。

名貫川の上流に30以上もの滝が点在し、昭和19年国の名勝「尾鈴山瀑布群」に指定され有名です。足元に注意しながら、水につかりながら進みます。

歩き始めてすぐに、流れの激しい滝にあたり、難しい大岩のため端の大岩から迂回します。リードの三原先生が先に登り、ザイル２本を木に通し、ルートを作ります。ビレイを通して通過。それからは大岩を乗り越ししたり、廻り込みをしたり、また水深が深くない箇所は渡渉します。岩のヌメリがある場所も多く、注意しながら一歩一歩進みます。次々と目の前には美しい滝が現れ、シャワーを浴びながら進むのは散歩気分です。谷幅が広く、大きな岩が多くスケールが伺えます。水深のある個所では縄手さんや高田さんは慣れているので泳ぎながら、岩にとりつき滝の流れを越えます。私は、泳げないので、深い箇所は遠慮して、岩に沿って浅い箇所を探しながら進みます。ルートを探しながら進むのも楽しいものです。

途中、休憩をしましたが時間がたつのを忘れます。午前10時に沢と別れて車道に戻り、終了。そのあと、園川先生が尾鈴山登山口まで歩こうと提案、皆さんで20分ほど車道を歩きました。車道が沢の上を通る橋にかかる手前で終わり、やや荒れた登山道を5分ほど歩くと、登山道入り口でした。

あまり整備されていない木道が山頂まで続くようです。

登山口から引き返し、昼食をとり下山開始。

正午前には小屋に到着し、着替え入浴するため出発。

今回の沢登りは、約3時間と短いものでしたが、楽しくそして満喫できました。沢登りは、岩登り技術や山登り技術も必要で難しいようです。川の流れも、足首ぐらいまでは身体のバランスをとることができますが、膝以上では流れの速さにより足のバランスが取れないようでした。　増水している箇所での渡渉は危険と感じられました。高田さんは、現在沢登り講習会を受講中(7回)でいろいろな面で慣れて行動されていました。

私も、元来水は泳げないため嫌いですが、安全な沢登りの知識を身につけて沢登りを続けたいと思います。

最後に、宿泊講義と当日リードをしていただいた三原先生、園川講師に感謝するとともに、一諸に歩いたメンバーにもお礼申し上げます。

月例　岩登り教室　９月３日(日)
岩野山（熊本市北区植木町）

15710　　町元　里香

リードクライミングの練習

午前９時に植木インターチェンジに集合し、岩野山に向かう。麓の駐車場から林道を５分ほど歩いた所で、山頂への標識に従って左の山道に入る。短い登りだが、急なうえに足もとが滑りやすい。５分ほどで岩場が見えてきた。ボルトが打たれたいくつかのクライミングルートがあり、良く整備されている。

午前中はトップロープクライミングをそれぞれクライマーやビレイヤーを交代しながら練習した。

ハーネスやロープの状態などをお互いに確認し合って開始する。常にロープに弛みがない状態を保つことが大切だ。午後からはトップロープで確保してもらいながらリードクライミングの練習をした。壁にかけているクイックドローにロープをかけながら登って行く。片手でロープを正しい向きにクリップする練習をした。ビレイヤーがクライマーに合わせてロープを出したり引いたりして最適な状態を保つことが、とても難しかった。

トップロープクライミングでもリードクライミングでもビレイヤーとクライマーの阿吽の呼吸が一番大切だと痛感した。

今回のアクシデントは、私が左腕の内側を蜂に刺された事だ。針が残っていたため、ピンセットで抜いてもらい、ポイズンリムーバーで毒を吸い出す。２種類のポイズンリムーバーで試してみたが、マウスピースが透明なものが吸引中に患部を確認できるので良い。患部を水で洗い、中畑さんが持参していたドクダミローションをスプレーする。その後ステロイドの軟膏を塗る。全身症状が現れなかったので、クライミングを続けた。

解散後、患部の痛みが退かなかったので帰宅後救急病院を受診したが、処置は消毒と軟膏を塗布するだけだった。痛みは半日位で治まったが、次に猛烈な痒みとの戦いが始まった。かかりつけ医でステロイドと痒み止めの内服薬を処方してもらい、痒みと腫れは2、3日で落ち着いた。

クライミングも初心者なうえ、蜂に刺され、皆さんに大変迷惑をかけてしまい、申し訳ありません。そして本当に有難うございました。

参加者：７人
CL坂井正臣、磯野文雄、竹本正幸、竹本加代子、塚本久嘉、町元里香、中畑智子

月例山行　9月9日～10日
三高山観月会と登山

16186　三宅　明子

9日(土)　三高山山小屋にて観月会

当日は午後3時に三高山山小屋集合。私は1時間前に到着したが、既に5人ほど来ており外にブルーシートを敷いてくれていた。午後3時から買出し。

事前に打ち合わせをしていたので、スムーズに終えることが出来た。午後4時前から調理開始、今回はすき焼きだ。チーフリーダーの榊さんが前もって野菜等を切ってくれていたので、スムーズに進んだ。まだ明るいうちから乾杯、宴の開始。

支部長をはじめ多くの方々からお酒の差し入れがあり、夕暮れになると月も顔を出し、楽しい宴となった。午後9時には当日参加の方々が帰ることとなったが、まだまだ宴会は終わらず、気づいたら午後11時を過ぎていた。約7時間、長丁場の観月会となった。

三高山小屋管理人高畠さんを囲む参加者

10日(日) 三高山～白馬山～大法山縦走

とても清清しい朝。午前6時には全員起床し、ご飯と味噌汁の朝食を済ませた。日差しも強くなり、暑くなりそうな予感。午前8時には高畠さんの案内で小屋を出発した。山中は風もあり涼しく、途中ホオバ等の樹木を観察したり、展望台からの眺望を楽しみながら三高山の山頂へ。その後、座禅石や奥の院を通りバクチノキを見学した。このバクチノキは「バクチで気ぐるみを剥がされたように見える」ことから名付けられたらしい。その後、白馬山を経て大法山へ。その後天慎寺にて昼食。ここは何度来ても風情のある、休憩場所にはもってこいの場所だ。昼食後、約1時間で三高山の山小屋着。約4時間の山行だった。小屋で解散し、希望者のみ近くの「なつきの湯」で入浴後、帰路に就いた。

2日間、天候にも恵まれ、仲間にも恵まれ、とても楽しい観月会だった。山小屋を利用させていただいた高畠さんをはじめ、チーフリーダーの榊さん、ご参加のみなさま、お疲れさまでした。

参加者：14人
会員：CL榊俊一、園川陽造、高畠拓生、
関口興洋、内藤正美、赤瀬榮吉、
三浦利夫、塚本久嘉、三宅明子、
支部友：加藤信子、坂本明広、出水貴之、
大塚浩美、ビジター：縄田恵美子

第1回指導員研修　6月18日(日)

16186　三宅　明子

実技指導風景　ザイルはこうかな？

今回は、午前中に指導員の総会、午後からは実技という流れで進めることになった。まず園川講師より、今年は指導員研修がはじまって4年目となるため、規程の改正を検討すること、組織として成り立つためにはどうすればよいかを考えるよう伝えられた。

総会では、規程について指導員の義務や資格を失った者への再受検について等、改定案を作成した。また、今後の研修の方法について議論を行った。今後行いたい研修(クライミングや積雪登山等)や、指導員としてのリーダーシップのとり方等、活発な意見が出た。

次回の研修では3人の指導員で、研修場所や研修内容等を考え、自発的に行うこととなった。

午後からは2班に分かれ、ロープワークを行った。

今回は、滑落した人をロープで持ち上げ、横に移動させて救助するという内容だった。カラビナを1ヶ所に2枚使い摩擦抵抗を利用し、1/2引き上げシステムを使ってロープを引くこと等、参加者で知恵を出し合いながらの研修で有意義なものだった。今年私は指導員C級を拝命し、研修自体は2年目となった。毎回学ぶことが多く、早く先輩方に追いつけるよう、日々努力していかなければならないと痛感している。

このような機会を設けていただいた園川講師をはじめ、指導員のみなさま、ありがとうございました。

※次回の指導員研修は、9月30日(土)～10月1日(日)英彦山にて宿泊講習会となります。

指導員研修受講者：11人　講師：園川陽造
会員：磯野文雄、竹本正幸、赤瀬榮吉、縄手修、
森義雄、歳弘逸郎、三浦利夫、山中秀正、
町元里香、奥田スマ子、三宅明子

第２回山岳専科　７月９日(日)
技術講習会「読図とナビゲーション」
北九498　山下　香代子

皿倉山頂研修室にて

福岡県の豪雨で、特にひどかった朝倉地区、東峰村の被害ニュースがほとんど占めている昨今の中での講習会。「果たして皿倉山ビジターセンターまで着けるのかしら？」と不安になりながらの、八幡東区旧平野小学校へ。少し待ち旧平野小学校を２台の車に分乗して出発。皿倉山車道も崩壊が何か所も、しかし土砂をいち早く山側に寄せてあり感謝、運転手のドキドキも慮りながらビジターセンターに無事到着。予定より少し遅れて研修開始。

「えっ、今日は園川先生ではなくて竹本事務局長による講習、道理で皆さんの表情に緊張が無い・・・」

（1）読図の準備　①地図に磁北線を引く。②地図を読む。等高線・沢と尾根・傾斜の緩急

（2）プランニング　①地図を見ながら地図上を歩き、行程をイメージしながら発表。②等高線に示されないピーク、鞍部にある複数の分岐注意点。

（3）ナビゲーション　①現在地の確認。②山座同定。③迷った時の対処法。

（4）コンパスを実際に使って歩く練習。コンパスを使って磁北線が引かれた△の図形通りに歩き、スタート地点に戻れるかを繰り替えし練習した。何度目かには不思議にちゃんと戻ってきて感激。もう１回もう1回と楽しみました。

講習会を受講し、私の15年の山人生はお友達とタベ・シャベリング登山でしたから、コンパス・地図は不要なものでした。また、中央の山行はツアーで「尻見登山」でこれまた地図もコンパスも不要。しかし15年前は地図やコンパス・天気・歩き方など習っていたのに、振り捨ててしまっていました。実際に何度も迷走した経験者の私が今回の講習で一番心に痛く響いたのは、「おしゃべりの多い人は迷う危険が大きい、おしゃべりに集中して周りを見落としてしまう」「時々後ろを振り返ること、登りは下りのために、下りは迷っていないか確認する」「鞍部は、ホッとして緊張感が薄れて、一番迷いやすい箇所であるので気を引き締めること」等。山行を決めると、まず地図を用意して磁北線を引き、スタートとゴールをはっきりさせて、歩くルートをたどっていきながら人工物・ピーク・分岐・自然物の確認（広葉樹から針葉樹に変わるな、何時間後くらいから急登だな、沢を何回渡るな、ここは分岐になっているな）等イメージ登山をすることの大切さを学ばせていただきました。ありがとうございました。

今回講習会を通して、ご講義いただきました竹本講師、そして出席された皆さん、お疲れ様でした。

受講者：8人　講師：竹本正幸
会員：竹本加代子、赤瀬榮吉、森本信子、縄手修、三浦利夫、山中秀正、清家幸三、
支部友：山下香代子

●第３回指導員研修案内及び参加者募集★★

指導員研修案内と第４期生の参加者を募集します。

参加者は、支部会員、支部友関係なく、さらに経験、年齢、性別も問いません。

意欲ある方は申し込んで下さい。

第３回講座が、12月17日（日）にて開催されます。場所は、現時点で未定です。

（帆柱山周辺を考えております）

・申し込み先：指導員マネージャー山中　秀正
（携帯080-2754-8370）
・締切り ： 11月30日（木）

なお、年間スケジュールとして平成30年2月4日（日）を予定しています。

場所は、九重山系での冬季宿泊研修です

同好会活動　ポレポレ会

7/20 由布川渓谷で川歩き

北九493　山口　得知代

「暑い夏の山は水遊びが最高、
全員ヒザまでびっしょりです」

午前7時50分香春役場で伊藤顧問の車に便乗、午前9時「豊前おこしかけ」で北九州の参加者と合流。渓流歩きは初めてで装備など判りませんでしたが丹下さんに沢靴を貸していただきました。沢靴は地下足袋の形をしていて滑らないし、小石は入らないし快適に歩けました。有難うございました。午前11時30分渓谷へ出発です。長くて急な階段を下ると、垂直でものすごく大きな断崖が迫り圧倒されました。水は思いのほか冷たくはなくて安心しました。流れる川を歩くなど初めてなので慎重に一歩ずつ安全を確認しながら進みました。

岩を伝って落ちる滝、岩に付いているイワタバコ、苔、シダ、岩肌の景観を楽しみながら渓谷の岩の上に座って昼食を楽しみました。流れの速い所は流されないように、深い所は急いで渡り、石の上では転倒しないように注意し、渓流歩きがこんなに楽しいものかと初めて知りました。

きのこの郷の温泉で入浴。温泉は熱く、水を抱えて入りましたが疲れが取れました。入浴後のアイスクリームはとても美味しかったです。最後に、暑い夏の山は水遊びが最高でした。

参加者：13人
会員：関口興洋、伊藤久次郎、原広美、丹下洽、丹下香代子、縄田正芳、奥田スマ子、町元里香、　中畑智子
支部友：伊藤トモエ、松田幸恵、立石シマ子、山口得知代

8/24 杵築城下散策と遠見塚 一等三角点をたずねて

北九486　立石　シマ子

大分県で最も低い一等三角点の山、
「遠見塚」（115㍍）の山頂で

８月下旬まだまだ暑さ厳しい24日大分県杵築市へ。午前9時おこしかけ集合。11人参加3台の車で杵築市役所へ。そこで、ＣＬの藤原さんと合流。

譜代大名松平氏の城下町として栄えた杵築。悠久の歴史が目の前を駆け抜けていくような落ち着いた街角、ドーンとした武家屋敷の正門、時代を感じる石垣、長い石段を登りきった所に大原邸、重厚な玄関構え、草葺屋根、回遊式庭園などの家老屋敷など、ぐるりと散策した後は楽しみにしていた昼食。このグループの楽しみでもある山半分グルメ半分という事で予約していた鯛茶漬の名店「若栄屋」へ。

江戸時代より受け継がれてきた味の伝統を存分に味わい満足。若栄屋へ行く途中のおみやげ店の前に「伊能忠敬」の石碑があり、こんな所も通ったのかと感無量。食事が終わって、もう一つの目標である日出町の一等三角点へ。

初めての一等三角点でしたが山の上ではなく遠見稲荷神社の朱鳥居をくぐった先にあり、こんな低い所にとびっくりしました。

「野の花を愛で史跡を巡り、のんびり歩きましょう」という趣旨に私の年齢、体力が丁度よくこれからもポレポレの会で楽しい山歩きをしたいと思っています。

参加者：11人
会員：原広美、伊藤久次郎、井上禮子、丹下洽、丹下香代子、縄田正芳、町元里香、
準会員：藤原玲子、
支部友：立石シマ子、松田幸恵、山口得知代

◆◆◆個人山行◆◆◆

7/28～8/3

飯豊連峰縦走と月山登山
水と雪渓とお花畑の飯豊山と登拝

行程

7/28：小倉14:00→多賀SA22:41（仮眠）

7/29：多賀SA:02→川入民宿16:04

7/30：民宿「高見台」5:25→短縮登山口5:35→横峰7:38→三国岳10:03/10:22 姥権現13:51→本山小屋15:10/15:24飯豊山山頂15:38/15:48→本山小屋16:05

7/31：本山小屋5:15→飯豊山5:38→御西小屋7:10/7:30→大日岳9:06→御西小屋10:34/11:03→梅花皮小屋15:05

8/1 ：梅花皮小屋5:20→北股岳5:54→門内岳6:55→扇ノ地紙分岐7:34→梶川峰8:32→飯豊山荘入浴13:55/15:18→ロッジやつなみ18:25

8/2：ロッジ5:53→牛首8:19→月山9:52/10:30→姥ケ岳11:52→リフト 12:21/12:35→ロッジやつなみ13:02→水沢温泉13:52/15:02→(月山)→多賀SA01:07

8/3：多賀SA5:24→小倉15:50

29日(土)入山、30日(日)　縦走1日目
「初日を頑張れば」を合言葉に
14853　　竹本　加代子

飯豊連峰は新潟、山形、福島県に県境を分かつが飯豊山は福島県に属する。地図を見ると県境が実に面白い。飯豊本山が位置する福島県が三国岳から新潟、山形県の県境に細長く割り込んでいる。三角点は飯豊本山にあり、最高峰は大日岳である。飯豊詣でが盛んであった頃がしのばれる地名がたくさんある。

九州5支部懇で講演をされた山本先生の資料の中にコース定数が60とあり、２泊３日の縦走であることも加味して全員トレーニングを積んだ。予備日は月山とした。

往路２日をかけて登山口のある喜多方市川入の宿に入ったのは29日である。レンタカーは下山口に回送を頼む。民宿「高見台」ではムードメーカーの三宅さんが「お父ちゃん、お父ちゃん」と宿の主人にフレンドリーだったからか、「夢ごころ」というお酒のサービスが２本もあり、座は盛り上がった。この宴会が登山中も続いたので奇縁を感じた。

頑張って登った飯豊山山頂

30日は覚悟をしていたが生憎の小雨模様。「高見台」のご主人とご子息に乗用車と軽トラで短縮登山口に送っていただく。小雨も上がりいよいよ登山開始。小さな沢を幾つも渡り横峰の急登を登ること2時間、余力を残してのペースなのでさほどきつくはない。地蔵分岐の途中、冷たい峰命水で水の補充。剣ヶ峰の岩場を経て三国小屋に到着。まだ午前10時であったが、炭水化物が枯渇しないうちにと民宿のおにぎり弁当をほおばる。種蒔山へと続くコースは、ヒメサユリやクルマユリに癒されながら刈払い直後を歩く。今年は残雪が多くガスのため雪渓と夏道へのコース取りには苦労する。切合小屋では取水の水を補充。この高さにして、飯豊は水で潤い、雪渓は大きく、その雪解けの後に芽吹きが始まり、花はみずみずしく我々はその自然に感動し解放される。稜線のアップダウンの繰り返しで体力を消耗してきたころ、眼下に姥権現とお秘所がガスの切れ間に見えると、あと少しと力が湧いてきた。ガスで眺望がないのが残念で仕方ない。本山最後の登りの御前坂はさすがにペースダウン。本山小屋には予定より30分遅れの到着である。距離9.8㎞（行動時間９時間45分）

辛い急登を幾つも越えてよく歩いたと思う。管理人さんの勧めで飯豊本山を往復(40分)。夜は昨日の民宿に続いて管理人さんご夫妻を交えて、よもやま話に花が咲く。雪渓の雪でキンキンに冷えたビールがしみわたる。収容人数30人、水洗トイレで避難小屋にしては快適である。

31日(月)　縦走２日目
遠かった「たおやかな尾根に風のプレゼント」
15616　　奥田　スマ子

2日目私たちが歩くコースは本山小屋から飯豊山最高峰の大日岳を経て梅花皮小屋まで16㌔道程である。仲間から「一日目の登り8時間をクリアすればあとはラクチン」と出発前に聞いていた。本山小屋の管理人の説明でも「たおやかな尾根に風のプレゼント」と言う。なぜかやさしい歩きのイメージが勝手に拡がった。

午前5時、雲が立ち込め展望はよくない。風も強い。風雨対策でカッパを着る。朝からぱっとしない天気であったが、こうして飯豊連峰を歩けることに幸せを感じる。管理人に見送られて皆元気に小屋を出発した。飯豊本山山頂はきのう踏んだのでスルーして大日岳への基地である御西小屋をめざす。なるほど、たおやかな尾根が続いている。

飯豊山の核心部。花もいっぱい。今日も瑞々しい花たちを愛でながら御西小屋に到着した。雨は降ったり止んだりを繰り返している。

こんな天気のためか登山者に会わない。御西小屋管理人も私たちに「ここに泊まってくださいよ」と言い暇そうにしていた。しかし、ここに泊まるわけにはいかないのである。小屋に荷物をデポさせてもらい大日岳に向かう。晴天であれば遠く山並みを眺めながら雄大な稜線歩きが満喫できただろうが、相変わらず雨は降ったり止んだりを繰り返す。視界が効かないなか突然山頂が現れ飯豊連峰最高峰の大日岳に到着した。山頂では強風の洗礼をうけながらもみんな笑顔いっぱい。中でもプレッシャーをはねのけ山頂に立った三宅会員の弾ける笑顔が印象的でした。

御西小屋に戻り昼食を摂る。この頃から雨も上がり天気回復の兆しがみえてきた。御西小屋から梅花皮小屋へは雪渓を何度も通らなければならなかった。真夏というのに雪も多量に残り、その長大な雪渓に驚いた。雪渓に付いた踏み跡を探し慎重にルートファインディングしながら天狗岳、烏帽子岳など幾つものピークを上っては下り、下っては上りを繰り返す。

今日はなんとなく気持ちのなかにラクが出来ると思っていた感はいなめず、その反動なのか梅花皮小屋のなんと遠かったこと。約10時間歩いてようやく遠くに小屋が見えた時は、あそこまで歩けばもう今日は歩かなくていいのだと安堵した。

雪渓を何度も越える

小屋は私たちの他に高齢男性ふたりだけ。いつしかこの二人も加わってお酒を飲みながら山談義に楽しい夜を過ごした。

8月1日(月)　縦走３日目
標高差1000㍍「苦行とも言える5時間の下り」
16186　三宅　明子

今日は小雨の中、雨具を着て梅花皮小屋を出発。昨日の足裏の痛みは、奥田さんからいただいた湿布のおかげで何とか回復していた。出発早々、北股岳までは登りで、疲れのせいか足がなかなか上がらない。足元の山ヒル等に気をつけながら登っていった。30分ほどで北股岳到着。そして、緩やかな下りを経て門内岳着。

途中、池塘やニッコウキスゲに癒されながら、扇ノ地紙分岐へ。この分岐では道標が倒れており、どっちに進んだらよいか一瞬迷ったが、昨日梅花皮小屋で一緒になった登山者から話を聞いていたため、間違わずに進むことができた。やはり、小屋等での情報収集は重要だと痛感した。

ここから梶川尾根を経て下山口までは標高差1000㍍の下り。下りが苦手な私は不安でたまらなかった。梶川峰を過ぎて勾配が急になり、気を引き締めてはいたが、岩などに足を滑らせ転ぶことが多くなった。「みんなに迷惑をかけないようにしないと」と思う余り冷や汗が出て、苦行ともいえる5時間の下りだった。途中にはロープを使っての急な下りもあり、このルートを登るとなると相当きついだろうなと思った。また、ヘビやマムシにも遭遇し、注意が必要な道だった。下りの間、竹本リーダーが足場等を伝えてくれて、何とか怪我もせず下山することができホッとした。他のみなさんはまだまだ元気で、さすがだなあと思った。

下山後は飯豊山荘でゆっくり汗を流し、明日登る月山の麓のロッジまで車で3時間の移動。とても明るく広々としたロッジで、みんな感動しきり。

夕食では月山地ビールで乾杯し、歳弘さんからは日本酒をご馳走になり、飯豊連峰を縦走した達成感、満足感いっぱいのひとときとなった。

今回の飯豊山山行にあたり、私は1月からトレーニングを行い、何とか歩ききることができた。

一緒にトレーニングをしていただいた竹本加代子さんをはじめ、応援してくださったみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も継続してトレーニングを行い、来年も新たな高みに向かっていきたいと思った。

2日(火)　東北山行4日目
月山登拝と360°の大展望
15416　　歳弘　逸郎

天気に恵まれた登った月山山頂

午前４時半ごろ、ロッジ二階の窓から外を見るとピタリと張り付いた雲海の上に朝日連峰が顔を出していました。

月山、湯殿山、羽黒山を出羽三山と呼びます。

今日はその主峰月山にのぼります。月山は日本百名山の一座であり、花の百名山にも選ばれています。

全員がデイバックに雨具、水、弁当などを詰め込み午前6時少し前に出発、10分ほどで登山口に到着。少し歩けば木道に出た。そこから、牛首(約1700㍍)までこの木道が続きます。花の百名山らしく両脇には沢山な高山植物がその美しさを競っていました。牛首からの展望は、北に広大な庄内平野がひろがり、南には朝日連峰がその堂々とした姿で横たわっていました。

牛首から50分で月山頂上、頂上には月読命が祭られていて、全員がお祓いをしていただき、登拝認定書をいただきました。

神社前は広場になっていて、ここは雲上の楽園、雲のかなたのはるか遠くまで見渡すことができ十分な休憩と360度の大展望を楽しみました。

参加者：6人
会員：ＣＬ竹本正幸、竹本加代子、歳弘逸郎、奥田スマ子、田中貴大、三宅明子

9月10日(日)
秋季森林保全巡視員の一斉巡視に参加して
15806　　清家　幸三

午前10時、平尾台自然観察センターに集合して秋季の森林保全巡視員の一斉巡視がスタートした。

「誰でも、たくさんの名を覚えられないので少しで良いから頭に残る山草名を覚えることで良いんです」と湖尻先生のお話があり、花の名前に対する拒絶反応から解放されて茶が床駐車場へと向かった。

この道に足を踏み入れるとすぐに先生のストックが両脇の山草への指差し棒に変わった。

「これはヘクソカズラで匂ってご覧」、名前の由来まで出てくる。花を研究された人の表情は特別に優しいとおもった。この情景が印象深いのか花の名前が出てこない。しかし、気持ちが楽になって歩き始めたので気にはならない。むしろエノキの木の下での水補給は格別だ。

2時間近くかけて茶が床駐車場について東屋で昼食を囲んだ。

ここにいるだけで平尾台を満喫できる場所だ。赤とんぼとそろそろ南へ帰るツバメが飛んで秋と夏の終わりが交差していた。

一時間近く歓談して帰路は吹上に向かう農道が散策路になっているコースをとった。

平尾台は空と接する山の稜線に特徴がある。流線形である。とくに雲が青い空に浮かんでここでしか見られない景観を創り出している。今日も高く飛んでいるパラグライダーもこの自然の中に溶け込んでいる。そんな景色をよそ見して道草の花々を鑑賞しながら歩いた。いつもだったら気にもかけない小っちゃい花がたくさん咲いている。

自然観察センターには午前中とほぼ同じ時間をかけて午後2時20分に到着した、

参加者で出会った山草花の名前をチェックした。45種類に出会っていた。

「今年は昨年よりもずいぶん多いようです。」と先生のお話しがあり、反省会を済ませ解散。やさしい気分になった一日でした。

参加者：7人
講師：湖尻浩子(立花山グリーンガイドの会)
会員：井上禮子、磯野文雄(ＣＬ)、関口興洋
竹本正幸、竹本加代子、町元里香
清家幸三

◇◇月例山行のご案内◇◇

10月の山行

●三俣山(1744.7㍍) 紅葉観賞
リーダー：赤瀬榮吉、サブリーダー町元里香
1、期　日：10月29日(日)
2、集　合：九重長者原駐車場
3、集　合：午前９時集合
4、行　程（歩行時間5時間：周回ｺｰｽ）
長者原駐車場～スガモリ越～西峰～三俣山(本峰)～南峰～北峰～雨ｶ池～長者原駐車場
5、申込み：赤瀬榮吉(携帯090-7475-9748)
町元里香(携帯090-9572-6931)
6、締切り：10月22日(日)

11月の山行

●第33回ウエストン祭及び記念登山のご案内
1．期　日：平成29年11月3日(金)～4日(土)
2．場所・時間
11月3日①午後4時　三秀台ウエストン碑広場にて第33回ウエストン祭
②午後6時　交流会　五ケ所野菜集出荷場
③午後9時　親睦会　五ケ所公民館
11月4日　午前8時30分～　記念登山(祖母山)
3．宿泊場所
11月3日　五ケ所公民館
（〒882-1415　宮崎県西臼杵郡高千穂町五ケ所）
TEL：0982-75-1950
4．参加費3,000円（宿泊費、懇親会費、朝食、弁当）
5．参加申込み
9月30日で既に締め切り

●第3回山岳専科
テーマ　:山岳気象 その他
リーダー:三浦利夫
1、期　日:11月26日(日)
2、集　合：　皿倉山ケーブルカー代替駐車場
（九州国際大学駐車場「旧平野小学校跡地」）
3、時 間：　午前9時30分集合
（車乗り合せの上ビジターセンターまで車で移動予定）
4、携行品 :通常登山装備一式・筆記具・昼食
5、申込み :三浦利夫(携帯090-2850-6020)
6、締切り :11月19日(日)

平成30年1月の山行

●広島宮島弥山
リーダー：内藤正美
1、期　日：1月7日(日)
2　行程
午前8時　山陽道下松ＳＡ集合、宮島口からフェリーで宮島へ
午前9時　宮島厳島神社で参拝し、多宝塔ルート駒ヶ林経由で弥山山頂
正午　紅葉谷ルートで下山
午後2時　フェリー桟橋
午後2時30分　宮島口にて解散
3、経費：フェリー代他
4、装備：登山用具一式、昼食は各自、他
5、参加申し込みは
1月3日まで内藤正美（090-8993-0239）
6、その他：参加者には車の乗り合わせなど調整し連絡します。

●第4回山岳専科
リーダー：三浦利夫
テーマ：レスキュー その他
1、期 日：1月14日(日)
2、集 合：皿倉山ケーブルカー山麓駅駐車場
3、時 間：午前8時30分集合
（ビジターセンターまで徒歩で移動予定）
4、携行品：通常登山装備一式・筆記具・昼食
5、申込み：三浦利夫(携帯090-2850-6020)
6、締切り：1月7日(日)

●難所ケ滝(三郡山)登山
リーダー：榊俊一
1、期　日：平成30年１月28日(日)
2、集合時間：午前８時
3、集合場所：九州自動車道【須恵PA（下り）】
4、行 程：
：　須恵PA～昭和の森駐車場～(河原谷コース)難所ケ滝～頭巾山～三郡山～(欅谷コース)～昭和の森駐車場(15:00解散予定)
5、申込み先：榊俊一(携帯:090－8416－4194)
6、締切り：平成30年1月15日(月)

平成30年2月以降の山行予定

※詳細は次号

●大山冬山訓練
リーダー：縄手修
1、期　日：2月10日～12日
2、場　所：大山

●大山スキー合宿
リーダー：池田智彦
1、期　日：2月10日～12日
2、場　所：大山

◇◇ポレポレ会のご案内◇◇
野の花を愛で、史蹟を巡り、
のんびり山歩きを楽しみませんか
担当：丹下　治
ゆっくり鑑賞しながら歩きます

○11月16日(木) 桧原山
（英彦山六峰・千本桂の黄葉）
○1月11日　相原山
（伊勢信仰の山、新年登山）
○2月22日　荒滝山
（大内、毛利氏古城跡、イノシシ鍋）
○3月29日　障子ヶ岳（山桜）
◆集合時間や行程についての問い合せ先
丹下治（携帯090-3732-8843）

英彦山山頂トイレ掃除の支部当番 平成29年度下期(10月から1月まで)計画

英彦山山頂トイレの清掃日は以下の予定です。
会員皆様のご参加協力をお願いいたします。

期日：　10月11日(水)
11月22日(水)
平成30年1月3日(水)
※参加できる方は、事前に自然保護担当（奥田スマ子)までお申し込みください。

当日、英彦山別所駐車場に午前9時集合し、
山頂へ向かいます。

10月15日(日) 英彦山美化ボランティア のお知らせ

添田町から英彦山美化ボランティアの実施と協力依頼がありました。

日　　時：10月15日(日)
収集時間：午前10時～午後4時
活動場所　英彦山　参道　登山道など
活動時間：各自の判断で行います
活動場所内、時間内に収集場所に持っていくため、参加者の「自由時間」、「自由解散」となります
収集場所：英彦山　鷹巣原駐車場
参加希望者　支部事務局へお問い合わせください

他支部の設立記念式典のご案内

◎熊本支部設立60周年記念式典 および記念登山

申込は終了しました

期日：平成29年11月18日(土)～19日(日)
会場：式典「アークホテル」
参加費用：16,000円
（宿泊・懇親会費・弁当含む）
行程：
1日目
14：00～受付開始、15：00～記念式典
15：30～講演会
講師：工藤文昭(熊本支部顧問)
18：00～祝賀会
2日目
記念登山「鞍岳(1118.3㍍）」
●A(阿蘇外輪山「鞍岳」）　所要時間約5時間
●B(山頂直下コース）　所要時間約30分

◆◆◆講演会などのお知らせ◆◆

あしび山の会主催　講演会

日時：11月14日(火)午後7時～午後8時30分
場所：北九州市戸畑区枝光北市民センター
講師：高千穂有康氏(東京都在住)
日本アルパインガイド協会公認ガイド
名古屋外国語大学非常勤講師
演題：①バテナイ歩き方と行動食
②僕が見た世界の山と自然
資料代：500円
定員：50人(先着順、定員になり次第締め切り)
申込：希望者は10/21まで支部事務局まで

ビデオの完成

園川教室シリーズ

No.10（2013年5月11日）　51分
テーマー：一般登山者の事故対策と救助
参加者：原広美、関口、竹本夫妻、森本、平井(九工大)、武谷(同)ほか

No.11（2013年7月13日）　30分
テーマー：ロープワーク
参加者：原広美、井上禮子、宮城、大木、竹本(加)、森本、縄手、深田、森、畑井、坂井、広瀬、高岡、久原、堀江ほか

No.12（2013年8月10日）　30分
テーマー：地図の見方と計測
参加者：原広美、井上禮子、高畠、関口、大木、大谷、畑井、堀江、奥田、加藤、中川、二尾ほか

なお、No.11と12は、同じ1枚ディスク。
各ディスク(ブルーレイ)１枚200円。
現在完成品をルームで無人販売中。
品切れの場合、希望者は竹本まで。

会　務　報　告

●平成29年7月定例役員会

日　時：平成29年7月5日(水)　18：00～20：00
場　所：当支部ルーム(毎日会館１F)
出席者：関口興洋、日向祥剛、竹本正幸、丹下洽、榊俊一、丹下香代子、大内喜代子、縄田正芳、縄手修、奥田スマ子、塚本久嘉、馬場基介、池田智彦

【議題】
（１）　会員の異動状況
通常会員：74人(前月74人)
準会員：2人(前月1人)
入会：藤原玲子(支部友から)
支部友：37人(前月37人)
入会：太郎良嘉親、
異動：藤原玲子(準会員へ)
会友：4人(前月4人)
計：117人(前月116人)
（２）　会費納付状況　（未納者）
通常会員：17人／74人
支部友：8人／37人　会友2人／4人
（３）　山行・行事報告
・6月10日：九重猟師山～合頭山　11人
・6月11日：森林保全一斉巡視（平尾台）8人
・6月18日：第1回指導員研修　11人
・7月1日～2日：久住山夜間登山　21人
・6月14日(水)：五支部懇反省会（リーガロイヤルホテル18：30～）　参加者13人
・6月24日～25日：夏山フェスタin福岡（スタッフ：関口、磯野、榊、赤瀬，三浦、三宅）
（４）　山行・行事計画
・7月9日：第2回山岳専科「読図」　9人
・8月11日：山の日「家族登山」
・8月18日～22日：北アルプス表銀座
・8月26日～27日：沢登り（尾鈴山甘茶谷）
・9月3日：岩登り（植木）
・9月3日：釈迦ケ岳・御前岳
・9月9日～10日：三高山（月見懇親会）
・9月10日：森林保全一斉巡視（平尾台）
・9月15日～18日：甲斐駒ケ岳・仙丈ケ岳
（５）　ポレポレの会
・7月20日：由布川渓谷

・8月24日：杵築城下町
・9月28日：華山

【審議事項】
（１）北九州支部組織図（次回支部報に掲載）
（２）計画書の提出先確認
月例山行は、山行委員長、支部長、事務局長に提出
保険は山行の都度確認する
（３）留守本部は役員にお願いします。
（月例山行は2名）
（４）「山の日」家族登山準備(8月11日)
・ＳＲ：馬場　救護班：町元、竹本(加)
・記念品：ウォーキングマップ、地図と家族登山、カンバッチ
・保険の手続き
・アイス（100人分）
・スイカ（4玉）
・ＲＫＢ取材要請
・門司区役所後援通知あり
・最終打合せ：8月2日　18：00～ルームにて
（５）忘年の集い：12月16日（土）（榊役員より）
会費6000円
①案　宝満山　→吉塚駅
②案　史跡・寺巡り→志賀島
（６）テレビ・ブルーレイディスクプレーヤー
：日向副支部長より寄贈(11日アンテナ工事)
（７）名簿の管理
・今まで通り新入会員に郵送する。ルームに1部置いておく
・支部長、事務局長、会計、山行委員長、安全委員長に渡す。
（８）図書の貸し出し期間：期間を2週間に決めておく
（９）北アルプス表銀座縦走の進捗状況
南アルプス仙丈ケ岳・甲斐駒ケ岳の進捗状況
（10）槇有恒祭　（実行委員会）
（11）全国支部懇の参加　10月13日(金)～14日(土)
関口支部長、竹本事務局長
（12）広島支部20周年記念式典参加
11月11日（土）～12日（日）詳細は後日
（13）熊本支部60周年記念式典参加
11月18日（土）～19日（日）締切り8月10日
（14）福岡支部60周年記念式典参加
12月　9日（土）～10日（日）
（15）指導員規約改正（次回）
（16）支部報発送（7月11日）
次回定例役員会　9月6日(水)　予定
以上

●平成29年9月定例役員会議事録

日　時：平成29年9月6日（水）18：00～20：00
場　所：当支部ルーム(毎日会館１F)
出席者：関口興洋、磯野文雄、竹本正幸、丹下洽、榊俊一、丹下香代子、大内喜代子、縄田正芳、縄手修、森義雄、奥田スマ子、塚本久嘉、馬場基介、池田智彦

【議題】
（１）会員の異動状況
通常会員：74人
入会：古賀照章、退会：大楠益弘
準会員：2人　異動なし
支部友：36人
退会：吉岡亜津子
会友：4人　計116人
（２）会費納付状況(未納者)
通常会員：15人、支部友：5人、会友：2人
（３）山行・行事報告
・7月1日(土)～2日(日)　夜間登山21人
・7月9日(日)　山岳専科8人
・7月9日(日)～10日(月)
自然保護全国集会in岐阜（関口支部長）
・8月11日(祝)　「山の日」家族登山
支部会員28人＋一般75人＝103人
子供：22人　当日参加者：17人
欠席10人（キャンセル含む）
・8月17日(木)～22日(火)
北アルプス表銀座(燕岳、槍ヶ岳、焼岳)10人
・8月26日(土)～27日(日)尾鈴山沢登り8人
（ビジター2人）
・8月30日(水)　英彦山トイレ清掃11人
・8月7日(月)～8月12日(土)　山の日記念版画展
門司駅前「柳庵」
（４）山行・行事計画
・9月3日(日)　岩登り教室岩野山(植木)7人
・9月3日(日)釈迦ケ岳　申込み1人のため中止
・9月9日(土)～10日(日)三高山・観月会15人予定
・9月10日(日)
平尾台森林保全巡視員一斉巡視活動
・9月15日(金)～18日(祝)南アルプス
（仙丈岳、甲斐駒岳）27人予定
・9月23日(土)～24日(日)
支部合同会議（東京：関口、竹本）
・9月30日(土)～10月1日(日)
指導員研修会(英彦山青年の家)
・10月13日(金)～14日(土)

全国支部懇(茨城支部主管：関口、竹本)
・10月22日(日)槇有恒祭（風師山）
・10月29日(日）三俣山紅葉登山
（５）ポレポレの会
・7月20日　由布川渓谷　23人
・8月24日
杵築城下町散策と遠見塚（一等三角点）11人
・9月28日　華山

【報告・審議事項】
（１）「山の日」家族登山の報告
・途中で説明すると子供たちは先に行ってしまう。説明は必要ないのでは。
・支部会員が昨年より減少。公益事業ですのでたくさんの方に参加して頂きたい。
・スズメ蜂の件があり迂回路を通った。今後は事前踏査が必要。
・１人軽い熱中症になったが、対応が非常に良かった。
・Ｔシャツを渡すとき混乱するので、来年は引換券を渡しては。
・当日参加が17人。山の記念ポスターを見て参加している。内容が一部間違っていた。
（２）忘年の集いについて
場所：ホテルサンヒルズ(JR吉塚駅前)
時間：17時から
山行：宝満山（9時：竈神社集合、）
（３）槇有恒祭　10月22日（日）
（４）支部交付金について会員1人当たり（支部運営交付金1,000円、支部事業助成金1,000円）
（５）九州シカ広域一斉捕獲について（秋季9月3日、10日、17日　・春季3月18日、25日）
（６）北九州支部活性化のためのお願い
（７）森林保全巡視員一斉巡視活動と巡視員の更新及び募集
（８）広島支部20周年記念式典参加　11月11日(土)～12日（日）中止
（９）熊本支部60周年記念式典参加　11月18日(土)～19日（日）7人
（10）平尾台広谷湿原保全活動の参加について（丹下）参加の方向で調査する。
（11）支部事業に関するアンケート
⇒事務局にて10／9日までに本部提出
（12）岩崎元郎さんの健康登山講座（福岡支部からの依頼）について
（13）第４回久住分かれ周辺の視察山行について（山のトイレ協議会）
（14）福岡勤労者山岳連盟創立50周年記念式典・祝賀会に参加して、8月26日(土)関口・磯野
（15）「あしび山の会」主催　講演会の案内
11月14日(火)19:00～20:30(枝光市民センター)
講師：高千穂　有康氏①バテナイ山の歩き方と行動食、②僕が見た世界の山と自然
（16）背負子を2台購入する⇒　テントは見送り
（17）ビジターの月例山行への参加について
・ビジターの定義：会員候補をビジターとする。この件は総会にて提案する。
（18）支部報発行予定　10月6日
（19）役員会終了後「山の日」家族登山の反省会、午後9時解散
次回定例役員会　11月1日(水)　予定
以　上

会員の異動

●通常会員へ：
入会者：古賀照章(16244)
退会者：大楠益弘(13465)
●準会員へ：
入会者：藤原玲子(A0078:支部友から準会員へ)
●支部友
入会者：太郎良嘉親(北九501)
退会者：吉岡亜津子(北九289)

ルーム便り（5月～9月）

5月 7日(日)　九州5支部懇談会実行委員会打ち合わせ
5月10日(水)　定例役員会
5月14日(日)　九州5支部懇談会実行委員会打ち合わせ
5月17日(水)　版画同好会
5月23日(火)　九州5支部懇談会あとかたずけ
6月 7日(水)　版画同好会
6月14日(水)　版画同好会
6月16日(金)　図書委員の図書整理
6月28日(水)　版画同好会
7月 5日(水)　版画同好会、定例役員会
7月 7日(土)　支部報7月号発送作業
7月12日(水)　版画同好会
7月18日(火)　版画同好会、テレビ台搬入
7月26日(水)　版画同好会
8月 2日(水)　山の日行事の打ち合わせ
8月12日(土)　山の日行事の整理
8月22日(火)　南アルプス山行打ち合わせ
8月31日(木)　南アルプス山行打ち合わせ
9月 2日(土)　南アルプス山行打ち合わせ
9月 6日(水)　定例役員会、アポイ岳ビデオ放映

支部報 No82 別紙：日本山岳会 北九州支部 組織図（H 29. 9 現在）

山行委員（14 人）：塚本久嘉、内藤正美、榊俊一、大内喜代子、竹本加代子、赤瀬榮吉、歳弘逸郎、大谷恵美子、三浦利夫、山中秀正、町元里香、清家幸三、小林英世、三宅明子

森林保全巡視委員（15 人）：江頭精一、井上禮子、馬場基介、磯野文雄、高畠拓生、関口興洋、丹下　洽、榊　俊一丹下香代子、竹本正幸、池田智彦、縄手　修、清家幸三、町元里香、三宅明子

第 1 期指導委員（7 人）：　竹本正幸、竹本加代子、縄手　修、森　義雄、三浦利夫、山中秀正、町元里香
第 2 期指導員（3 人）：　赤瀬榮吉、歳弘逸郎、奥田スマ子、
第 3 期指導員（2 人）：　清家幸三、三宅明子

サロンのお知らせ

小倉 サロン

開催日：毎月第４水曜日
場　所：小倉北区魚町「コール天」
申込み：竹本正幸（携帯090-6739-9251）
ただし、10月は第４日曜日に変更します。

1　10月22日(日）午後６時から
　森武昭前会長を迎えて懇親会を行います。
　午後８時から「銀杏」で二次会を予定しています。
2　11月22日(水）午後６時から
3　12月の開催はありません。
4　１月24日(水）午後６時から

博多 サロン

と　き：11月９日（木）18時30分
場　所：丸海屋博多駅築紫口店　18時30分
　☎０９２-４３２－４４５５
会　費：３,５００円程（飲み放題）
申込み：赤瀬榮吉（携帯090-7475-9748 or ﾒｰﾙ）
締切り：11月2日（木）

居酒屋「コール天」

●場所：小倉北区魚町1-2-23 桧山ビル2F
　TEL:093-522-0565
　ＪＲ鹿児島本線 小倉駅南口から
※中央銀天街方面に向かい徒歩5分

※北九州支部は小倉サロンでお世話になっています

童謡・懐メロ・寮歌・校歌・軍歌・ラジオ歌謡・山の歌

〒802-0004　北九州市小倉北区鍛冶町1-2-2(坪根ビル)